



隙のない データ保護対策を 実現するために 必須となる 3つの要件

CASBの改善とDLPの強化を
図るには、正しい基盤を
構築する必要があります



ITやネットワークのセキュリティの仕事をしている人であれば誰もが、以前はデータがすべてデータセンタにあり、全従業員がオフィスで働いていたので、データを保護するのは今よりはるかに簡単だったと口を揃えて言うでしょう。しかし、時代は確実に変化しました。

データはデータセンタを離れ、数百ものクラウドアプリに分散するようになりました。リモートワークの採用が進み、従業員が会社のネットワークを離れ、セキュリティコントロールの及ばない場所で働くようになっています。大きな問題ではなかったかのような勢いでほとんどのインターネットトラフィックが暗号化されるようになり、インスペクションが困難であることに乗じて、サイバー犯罪者が自らの脅威をそこに隠すようになりました。さらには、従業員が保護されていないネットワークや管理対象外のデバイスを使用するようになっていることから、データが外部に公開される機会も増えています。

このような新しい世界には、クラウドとモビリティを前提にゼロから構築され、以下の必須要件を満たすデータ保護プラットフォームが必要です。

ポイント

CASBとDLPによって
確実にデータを
保護するには、優れた
アーキテクチャを
採用し、成功の条件を
理解することが
不可欠です。

必須要件①

目的に特化したSASEアーキテクチャを採用する

クラウドとモバイル化が中心となりつつある中、セキュリティアプライアンスをあらゆる場所に設置するわけにはいきません。セキュリティアプライアンスによる保護はオフネットワークのユーザに対しては適用されないため、ユーザやデータの情報が外部に公開されてしまいます。さらに、完璧なクラウドアクセスセキュリティブローカ(CASB)の機能とデータ損失保護(DLP)を提供するには、全てのトラフィックを対象にSSLインスペクションを実施する必要がありますが、ハードウェアによる制約が存在するアプライアンスでは、実現できません。

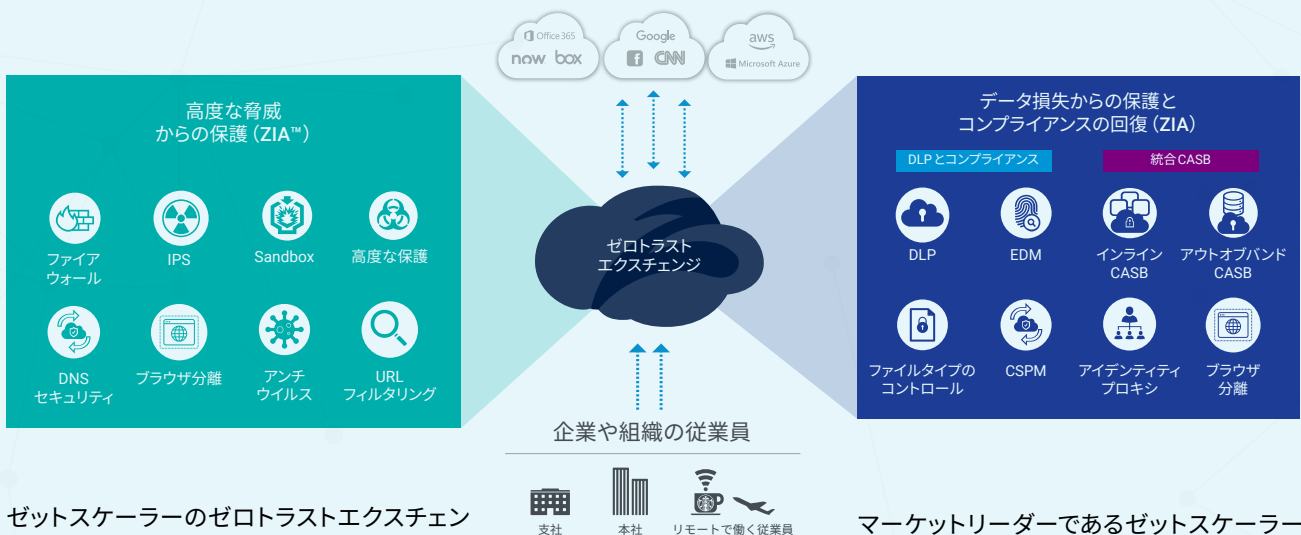
目的に特化し、専用に設計されたSASEクラウドプラットフォームは、ユーザの場所に関係なく、ハイパフォーマンスかつ常時オンでセキュアに接続させるにあたって、必須となる第一の要件です。SASEは、CASB、DLP、セキュリティのすべてのサービスをグローバルな分散クラウドプラットフォームに統合することで、複雑さの軽減、データ保護の強化、ユーザエクスペリエンスの高速化を可能にします。

ポイント

SSLを含むスケーラブルでエンタープライズグレードのインラインデータ保護アーキテクチャの構築は容易なことではありません。実証済みの確かな経験と実績を誇るベンダのみが、エンタープライズグレードのSLAでトラフィックを確実に保護できます。



ゼットスケラーの方法



ゼットスケラーのゼロトラストエクスチェンジは、150のデータセンタによるスケーラブルなデータ保護とSSLインスペクションの実現を目的にゼロから構築された、クラウドネイティブのプロキシです。すべてのユーザに高速かつ安全な接続を提供し、無制限のSSLインスペクションによって、オンネットワークまたはオフネットワークのすべてのユーザ接続のすべてのデータの保護を可能にします。

マーケットリーダーであるゼットスケラーは、10年以上にわたり、他社に先駆けてインラインインスペクションを提供してきました。DLPやCASBを含むすべてのセキュリティサービスが統合されているため、ポリシーが簡素化され、統一されたアプローチでデータと脅威からの保護が可能になります。

必須要件②

強力なデータ保護対策はコンテキストの活用が最大限求められる

データの適切な分類にあたってはコンテキストが必要ですが、正確な情報に基づき適切に判断をするには、コンテキストの品質もまた重要です。

ユーザがExchangeのサーバからメールにアクセスしたり、少数のファイルサーバしか存在していなかった時代には、それも簡単なことでした。情報に基づく意思決定に必要なすべてのものがそこにあり、アクセスも容易でした。

ところが今は、クラウドアプリから、パブリッククラウド、ファイル共有プラットフォームまでの何百ものチャンネルをデータが移動するようになりました。そして、それらのチャンネルで必要なすべてのコンテキストがSSL暗号化に隠されるようになりました。

ポイント

CASBとDLPにとって、コンテキストは極めて重要です。したがって、オンネットワークまたはオフネットワーク、SSLの内側のいずれにおいても、すべてのクラウドトランザクションでほぼすべての属性を判断できる、最も強力な分類エンジンが組み込まれたプラットフォームを選択する必要があります。

/ ゼットスケラーの方法

ゼットスケラーは、比類ない強力なコンテキストを提供します。

ゼットスケラーのアプリケーションであるゼロトラストエクスチェンジとClient Connectorを利用することで、オンネットワークまたはオフネットワークのすべての接続で、常時オンのデータ保護が実現します。さらには、すべてのSSLトラフィックを可視化し、最高品質のコンテキストを提供します。

ゼットスケラーの業界別辞書やカスタム辞書を利用し、Exact Data Match (EDM) フィンガープリンティングなどの高度な技術を活用することで、業界で広く利用されているフォーマット (PCI、HIPAA) やカスタム定義のデータを迅速に分類できます。

ファイアウォールやプロキシからのコンテキスト

172.16.1.12 送信元IP	64.81.2.24 送信先IP	TCP/443 送信先ポート
SSL プロトコル		HTTPS プロトコル

従来型のインラインアプローチでは、コンテキストに沿った十分な可視性が提供されません。

コンテキストの追加 完全な SSLの復号化

JohnDoe ユーザ	prodmgmt グループ	本社 場所
アップロード アプリ機能	jumpshare アプリケーション	PowerPoint ファイルタイプ
ファイル共有 URLカテゴリ		「機密」 コンテンツ

すべてのSSLの制限のない復号化を可能にすることで、強力な保護につながる意思決定に必要なコンテキストを手に入れることができます。

必須要件③

すべてのチャンネルを保護できる統合プラットフォームを採用する

情報が漏洩したり、外部へ持ち出されたりするリスクからデータを保護するには、データが置かれているあらゆる場所に対してセキュリティが必要です。すべてのチャンネルをコントロールできない場合、データは脆弱であり、潜在的な脅威にさらされることになります。

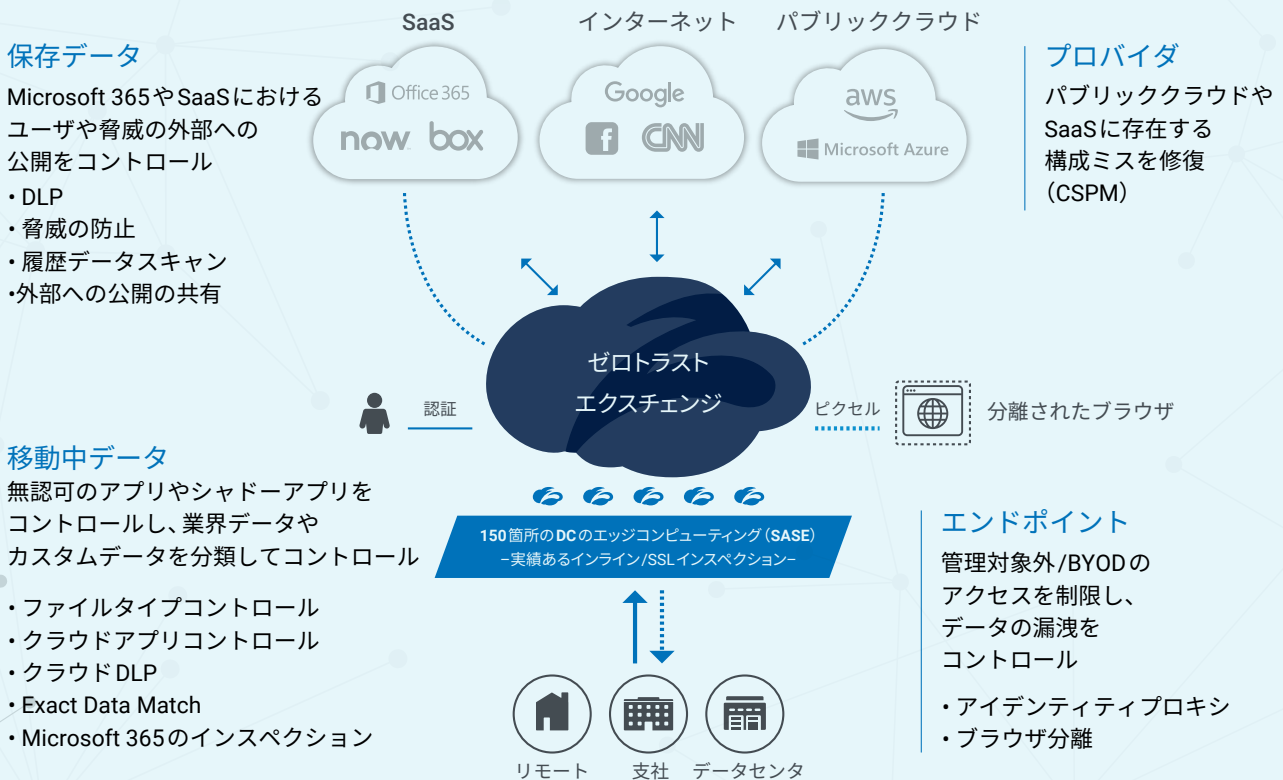
また、CASBやDLPのすべての保護をひとつのプラットフォームに統合できない場合、その環境はあまりに複雑なものになります。単一のプラットフォームビューが提供されない環境では、分断されたポリシー、セキュリティギャップ、高コストの構成ミスが発生する可能性が高くなります。

ポイント

統合プラットフォームは、移動中、保管時、エンドポイント、クラウドプロバイダなどのすべての主要データチャンネルにおいて、ポリシーを大幅に強化し、ワークフローを簡素化します。

/ ゼットスケラーの方法

ゼットスケラーのクラウドサービスは、すべてが専用のインラインクラウドアーキテクチャに統合されているため、すべてのサービスの連携によってポリシーが統合され、クラウドデータチャンネルの保護が合理化されます。



ゼットスケラーによる仕組み

移動中のデータ

リアルタイムでデータを保護するには、エンタープライズグレードのインラインインスペクションが不可欠です。ゼットスケラーのインラインクラウドであれば、オフネットワークやSSLの内側であってもすべてのユーザを追従し、送信先にかかわらず、クリティカルデータを迅速に分類してブロックし、認可されていないクラウドアプリケーションを遮断します。

保存データ

ユーザにクラウドアプリの利用を許可する場合、ユーザの判断が正しいことを確認する必要があります。ゼットスケラーのアウトオブバンドCASBであれば、SharePointやOneDriveなどのMicrosoft 365アプリでの不適切なファイル共有を簡単にコントロールでき、ファイルリポジトリをスキャンすることでDLPやマルウェアの問題を発見できます。

エンドポイント

このチャンネルで重要なのは、正しいユーザのみがデータにアクセスできるようにすることです。BYODアクセスコントロールによって、SAML/SSOルックアップを迅速に実行し、Microsoft 365リソースへの不正アクセスをブロックできます。さらには、ゼットスケラーのクラウドブラウザ分離によって、エンドポイントのデータがピクセルとしてのみレンダリングされるため、管理対象外デバイス (BYOD) へのデータの漏洩を防止できます。すなわち、外注業者に対してデータの表示ややり取りを許可し、データの保存、ダウンロード、コピー&ペーストを禁止することができます。これにより、セッションの終了後にデータがデバイスに残ることはありません。

プロバイダ

クラウドアプリケーションの構成ミスは、情報漏洩の最も一般的な原因のひとつであり、多くの時間とコストを企業に強いることとなります。ゼットスケラーのCSPM (クラウドセキュリティポスチャ管理) によって、SaaS、IaaS、PaaSのアプリケーションの構成ミスを自動的に特定し、修正できるため、データ損失のリスクが軽減され、コンプライアンスが保証されます。

まとめ

クラウドとモビリティによって、企業におけるビジネスの進め方も従業員の働き方も変化を遂げました。データの処理方法が変わった今、データの保護もこれまでとは違う方法が必要です。セキュリティアプライアンスでは、今日の世界でデータの適切な保護はできません。あらゆる場所に置かれたデータを保護する、SASEを基盤とする、クラウドを前提に構築されたセキュリティプラットフォームが必要です。これこそが、ゼットスケラーが必要とされている理由です。

インライン&アウトオブバンド CASBの仕組み

youtu.be/KgBuvYC7ZSk

カスタマイズデモのご希望や、その他のお問い合わせ

zscaler.jp/company/contact

ゼットスケラーについて

ゼットスケラーは、ゼロトラストエクステンジと、ユーザ、デバイス、アプリケーションの間のあらゆるネットワーク経由の高速かつ安全な接続を提供するSASEベースのプラットフォームによって、デジタルトランスフォーメーションを加速させます。

